



野の花と風薫る郷から…

PUBLIC INFORMATION

広報 たかもり

THE NEWSPAPER OF TAKAMORI TOWN

'95 JULY

7

No. 431

平成7年7月5日発行

今年も「織姫」と「彦星」が会えますように願いごともいっぱい書きました



七夕づくり

7月7日は七夕。高森保育園の年長組の子どもたち35名が6月23日に七夕づくりをしました。

これはお年寄りと子どもたちとのふれあいを目的にしたもので、核家族が多い中、こういった世代間の交流は大切なことです。参加協力いただいた町内のお年寄り17名のおじいちゃん、おばあちゃんたちは「子どもに返った気分です。わが孫のように可愛かですね。」と感想を話していました。子どもらしい願いごとや、おじいちゃん、おばあちゃん達への感謝の気持ちがいっぱい書かれた七夕は高森駅に飾りつけられ、見る人の心を和ませていました。



高森町民憲章

- 水と緑と土のにおい、いっぱいの住みよい町にします。
- 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
- 老人を大切にし、子供の夢を育て幸せな町にします。
- 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
- スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



Children's Corner

わたしたちの作品

草部南部小学校

4年生



絵

佐藤真介さん

1年生



こうさく

岡本瑠依さん

たのしいメニュー



〔築嶋先生から〕

花たちがみつを出し、ゆかいにおどっています。鳥に乗っているのは真介さんですね。心が晴れるほど、きれいな色使いです。優しくてユーモアたっぷり、クラスを明るくしてくれる真介さんです。

今年は終戦五十周年の年
町の戦没者追悼式が一日から四日まで各地区で開催されました。（詳細は次号掲載）本発展の礎となられた方々の御靈に報いるためにも、私はちは節目となるこの年に平和の尊さについて真剣に考えてみたいのです。

編集後記

〔井先生から〕

明るい、かたづけがじょうずな瑠依さんは、ケーキなど、おいしそうなメニューをつくりました。一つひとつ、こまかいところまで、ていねいに作られて、たのしいさくひんです。瑠依さんのゆめ「ケーキやさん」がきっとかなうことでしょう。

「初盆を迎えるご家族」の記事について

この記事は今年から7月末日までの内容で、8月はじめに、広報誌とは別に「広報たかもり号外」として全世界に配布します。次の場合は7月31日までに町民係まで連絡してください。

☎2-1111 内線133番

◎掲載を希望されない場合 ◎お亡くなりになられた方が他市町村の住民であった場合でも、本町で初盆を迎えるなどの理由により、この記事に掲載を希望される場合

広報担当になって一年二ヶ月。各方面から色々な情報もいただけるようになり、何か本誌を発行してまいりました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。
今後も役場の各課が取り組んでいる最新の情報や家庭教育などによる「人権尊重の人づくり面」の情報そして、人知らずボランティア活動をされており、素晴らしい特殊技術をお持ちの方々など、人物や団体に焦点をあてた記事や心温まる記事、力づけられる話などの「まちの話題」を掲載して、皆さんのが互いに認め合い、尊重しあう心により、高森の「まち」と「人」を他の誇る気持ちを持っていただけるような、明るい「まちづくり」に貢献できる広報誌づくりをしてまいります。
また、広報は「一発勝負」と言われます。見やすい編集、レイアウトに心がけ、全部に目を通していただけるように努力してまいりますので、本誌の紙面づくり面でも、ご意見をお寄せください。

行政広報誌の責任と役割
情報提供ありがとうございます

自然を守る大切さを

4月から前任の佐伯誠登さんの後を継ぎ、南阿蘇ビジターセンターの管理をしています。永く畜産関係の仕事をしていましたが、ここに勤めるようになって、動物や植物の保護はもちろん、自然を守ることの大切さを、私自身強く感じるようになりました。

ここを訪れるのは福岡など他県の人々がほとんどです。その方達は自然についての認識を高く持つておられますので、私も毎日が勉強です。

高森のみなさんも、この素晴らしい自然を守ることやその大切さを考えてください。

今後もビジターセンターは自然保護活動の拠点として活動していきます。お気軽に遊びにお越しください。

自然保護は地元から

今年の歌詞募集で特選となった小田美智さん（熊本市）
「特選に選んでいただき、林田先生に曲を付けていただくなんて光栄です」と話されていました。

自然保護は地元から

南阿蘇ビジターセンター管理者となつた安方司さん（昭和）

風と野の花

風にも色が あつたなら
野原の風は どんな色
たんぽぼ りんどうすみれ草
咲いてるお花の 色でしよう
ほらほら見えます 摆れています

第11回「阿蘇の野の花」
歌詞特選歌から

今年の歌詞募集で特選となった小田美智さん（熊本市）
「特選に選んでいただき、林田先生に曲を付けていただくなんて光栄です」と話されていました。

今年の歌詞募集で特選となった小田美智さん（熊本市）
「特選に選んでいただき、林田先生に曲を付けていただくなんて光栄です」と話されていました。

今年から上色見小45名も参加。保護者山田良典氏作詞、作曲の「手をふれないやさしさを」を合唱しました。（指揮荒牧美穂さん・6年生）

今年から上色見小45名も参加。保護者山田良典氏作詞、作曲の「手をふれないやさしさを」を合唱しました。（指揮荒牧美穂さん・6年生）

毎年六月の最終日曜日に開催されているはなしのぶコンサート。今年はあいにくの雨になり、休暇村セントラルロッジに会場を移して行われました。雨にもかかわらずこの日訪れた観客は約二千人。尚絅高校マンドリンクラブが奏でる澄んだ音色や、高森小、上色見小の合唱と本町の声楽家・藤野眞幸さんの「つゆくさの歌」などの歌声に魅了されました。

毎年続けられているこの「野の花に語りかけるコンサート」。今年は野の花たちから「好天を期待するのは人間のエゴ。梅雨の時期には梅雨らしく。雨が降るのがいいんだよ」と、私たちが教えられたような気がします。

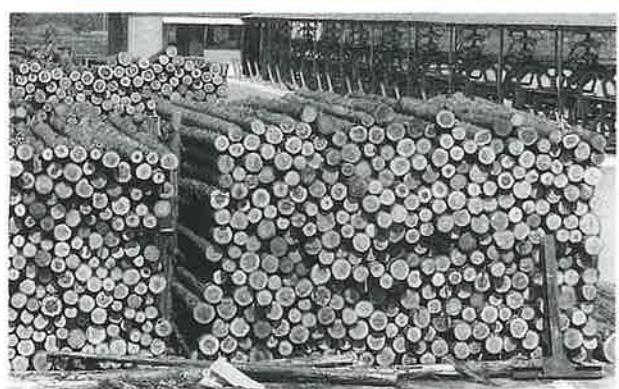
第15回 はなしのぶコンサート



6/25 雨の中にも聴衆ギッシリ



コンサートに聞き入る人々、会場に入りきれない人もたくさん



都内トップの
高森町の森林資源
林野面積
13,196ha
民有林面積
12,358ha
人工林面積
8,057ha

のまち・たかもり」を目指したまちづくりに向けて、町や森林組合では遅れていた間伐施業の推進を含むすべての林業の振興面に真剣に取り組んでいます。

木材共販取扱い高順調に伸びる

高森町森林組合 木材共販所

平成五年四月から本格稼働した森林組合共販所の取扱い高が計画どおり順調に伸びています。この共販施設は輸入材に押されて、木材価格の低迷による林業離れや林業従事者の高齢化など、林業の低迷の状況を打破して町林業を活性化させようと、林業構造改善事業により建設されたものです。

取扱い高は平成四年度までの平均一万四千m³に対して、平成六年度は一万八千五百十七m³を取扱い、毎年平均十三%以上の伸びで推移しています。この要因は、林業者の理解と、町が平成六年度から実施した柾積助成金制度（畠当たり百円）の有効活用によるものと、町や森林組合では分析しています。

植林から伐採まで数十年周期という林業は、農業の様に毎年の収益に結びつかないことが、林業離れの一因とも言えますが、林野面積、民有林面積、人工林面積は郡内でもトップといいう町の林業形態の優位性は他に誇れるものであり、今後の「林業

と出荷作業が始まりました。

一昨年の天候は冷夏、昨年は空梅雨、農業に欠かす事ができない適度な日照と降雨は年を追う毎に変化しており、農作物への影響が心配されるところですが、六月末日現在で、町の特産品である、高冷地野菜のキャベツとピーマン取り入れと出荷が軌道に乗りました。今年も各消費地においしい野菜が運ばれていきました。

また、今年の気温の低下は観光農園として知られている町内十カ所のリンゴ園でも摘果や袋かけ作業に一週間程度の遅れが出ていましたが、現在その作業も順調で、八月下旬にはおいしい実をつけることができるようです。

農業ニュース Agriculture News

町の農産物 出荷始まる

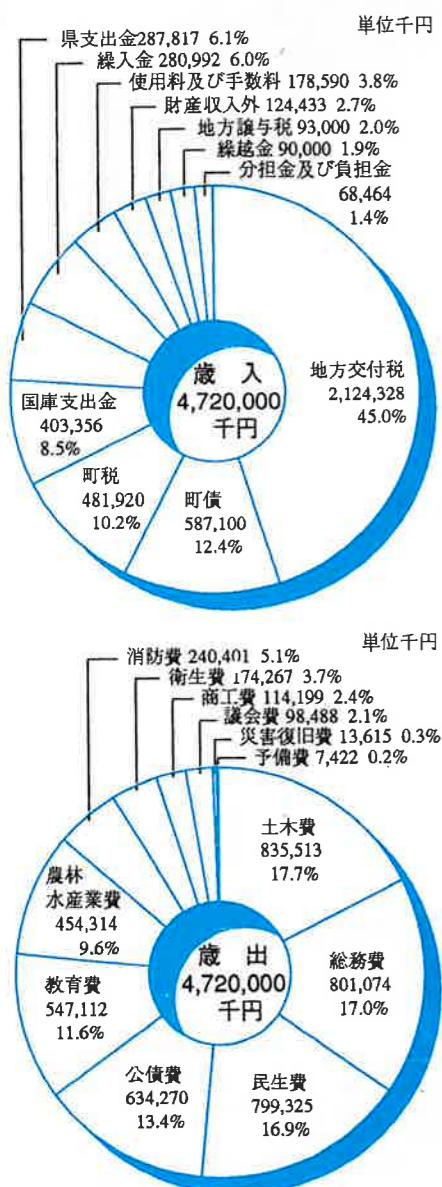
**キャベツ・ピーマン 取り入れ盛ん
リンゴ園の袋かけ作業 たけなわ**

6/25 雨の中にも聴衆ギッシリ

今年も色々な農作物の収穫と出荷作業が始まりました。

平成7年度一般会計当初予算

47億2千万円



本年度の予算編成は、町税収入と地方交付税が伸びず厳しい状況にあることにより、必要な財源確保のため経費の節約と合理化及び、町振興計画、過疎地域活性化計画を基本に策定しました。また真に必要とされる施策を推進するほか、景気の動向に十分配慮し、質的に充実した予算編成を行いました。

当初予算の内容

- 防災関係 災害時の情報伝達の重要性を考え、全世帯への防災行政無線の個別受信機を設置します。
 - 公共事業 わたしたちの生活に欠かすことができない町道等の整備を行います。
 - 保健福祉 お年寄りや身体の不自由な方など全ての福祉施策の推進を図り、町の次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つための施策を展開します。また、地域福祉増進を目的にして、助け合いとボランティア活動のための環境づくりと支援を行います。
 - 農林業 農林業者の定住化促進と担い手育成等に力を入れ、全ての分野で農林業の振興を図ります。
 - 観光 高森自然公園整備事業を推進します。また、観光客と地元が交流できる各種イベントの展開などにより、観光の振興を図ります。
 - 教育 学校・社会教育に更なる力を注ぎ、同和問題解決のために教育啓発活動を推進します。また国際交流と文化・体育の振興にも努めます。
 - 企画開発 高原森林文化村構想の基本計画策定により、野尻地区活性化構想に取り組みます。また生き生き地域づくり運動の展開と文化育成のために、カルチャーセンター構想に取り組みます。
 - その他 水の資料館を「環境と暮らし」の観点でとらえ、上流水源地からの説得ある提言として環境の保全と保護をうったえます。
公債費については統合小学校開設にともない、旧校舎等の償還残金の繰り上げ償還を行います。なお公債比率は平成6年度決算ベースで11%を見込んでいます。



で、町政運営に絶大なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつと致します。

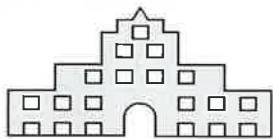
して、町民各位のご信任をいただき、再度高森の町政を担当することになりました。わたしに課せられましたこの重責を痛感し、鋭意、渾身の力をもって、町政に当たる所存でござります。

今日の政局は激動、激変の様相を呈し、産業経済界もバブルの崩壊と円高等で、大変革にさらされ、生き残りに懸命の努力がなされておりますように、町政においても、義務的経常費の増高と、町税と地方交付税の伸びが期待できないなど厳しい財政状況にありますが、この不安定かつ変動の時期を乗り切るため、本年度も新しいものも古いものも、あらゆるものを広く深く見つめ、発想の転換により、眞の価値を見い出すという「無用の用」の精神により、行財政改革の精神をもって町の活性化と安全、安心、連帶ある町づくりに邁進してまいります。

今後も町議会との連携を図りながら、力強く町躍進のための施策を展開してまいります

高森町長 今村博信

第2回町議会定例会



議会だより

Minutes from town assenbly meeting

一般会計当初予算 特別会計補正予算などを可決

本年度は統一地方選挙が実施されたため、本町予算は六月末日まで、暫定予算で執行されてきましたが、本議会において当初予算が四十七億二千万円と決まりました。（この歳入・歳出など詳しい

特別会計補正予算

- 三百七十万五千円増額補正して、総額八億二千百三十一万五千円となりました。

■ 簡易水道特別会計

四千百十六万五千円を増額補正して、総額一億八千十一万七千円となりました。



ごあいさつ

高森町議會議長 後藤英範

5月8日の臨時議会において、不肖私が議員各位の温かいご推挙により、本町の議会議長に就任することになりましたことは、身に余る光栄と存じますとともに、その職責の重大さを痛感している次第であります。

議長の職務につきましては、いまさら申し上げるまでもございませんが、町民と行政のパイプ役として職務を十分に果たさなければなりません。そのため誠心誠意努力を積み重ね、また、政治倫理条例を生かした議会運営を目指す所存でございます。

本町の冷涼な気候の中で、観光と基幹産業である農林業を融合させた町づくりや、福祉と教育などあらゆる面で重要な案件が山積しております。

こういう時期に大任をお引き受けし、この難局を乗り越えるために二期目の今村町政のもと、これらの諸懸案事項解決のために、議会と執行部が一丸となり、町民の皆さんのご期待に添えるよう努力したいと思いますので、なにとぞご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、議長就任のごあいさつと致します。



平成七年度

議会に報告されたもの

県営別所地区溜池等整備事業、一千二百三十八万四千円が平成七年度事業に繰り越されたことが報告されました。

国民年金 Q&A

個人年金に加入しています。国民年金には加入していませんが、個人年金との違いなど、詳しく説明してください。

国民年金は国民の老後生活の経済的基盤を保障するものです。したがって、物価の上昇によって、年金の実質価値が目減りしないよう毎年物価スライドを行い、更に5年ごとに賃金の上昇や生活水準の向上を反映させる年金の改定を行っています。

これに対して個人年金は貯蓄的な性格を有するもので、払い込まれた保険料に運用利息を加えたものが給付として支給されます。ですから、予想できない物価や賃金の上昇、平均寿命の伸びがあった場合には対応が難しく、老後の所得保障のすべてを個人年金に頼ろうとするのは危険です。国民年金は30年前の制度発足当時には、40年間保険料を納めて月額3500円の年金額であったものが、今日では65,458円支給されています。

まず、国民年金に加入したうえで、余裕があれば個人年金にも加入して、老後をより豊かにすることを考えください。



生涯学習をめざして

高齢者学級開講式

今年から上色見地区にも学級が開設

知識を得ることは若さを保つ秘訣です。町ではお年寄りの皆さんに、目まぐるしく変化する社会情勢や、様々な知識を吸収していただき、高齢者学級を開いています。今年も5月26日から30日まで、各地区で開講式を行い、今年から上色見地区にも教室が開設されて、全地区で250名の方が受講されることになりました。

生涯学習とは「自ら学習し、自分を育てる」と言われます。変化の激しい現代社会で生き抜くには、絶えず新しい技術や知識を身につける必要があります。この高齢者学級では、みなさんからの希望を取り入れながら、毎年色々な『生きた情報』をお届けしています。



「人間 健康が一番」 日頃から運動や正しい食生活などに気をつけて健康な身体づくりに気をつけておくことは、明るい家庭づくりにも欠かせないことです。

今年もこの健康づくりについて正しく学んでもらおうと、6月7日に「いきいき健康教室」が開講しました。

本年度の受講生は三十名。健康を守る婦人の会の協力を得て、十二月の閉講式までに

いきいき健康教室開講式



今年から開講した上色見教室

毎月一回ずつ、食事と健康に関する講座が七回開かれます。式後に行われた橋本朗阿蘇保健所長の健康づくりについての講演では、食べ過ぎと減塩に気をつけて適度な運動をすることが大切であり、特に運動面では、「走るよりも早歩く方が効果がある」また、「無理せず安全に」「効果を良く考えて」「楽しく長く続けましょう」と強調されています。

住民による
住民のための取り組み
まちづくりをめざして
まちおこし
他にまちづくりをめざして



写真左から監事の田上由紀さんと吉良嘉人さん
副会長の村上正誠さんと武田望さん 一番右が
会長の山村唯夫さん

今後この研究会では「食」をテーマにして、町活性化のための方策の調査・研究や、各種イベントの企画と実行など、色々な取り組みをしていきますが、最終的には町内に、町活性化の精神を広めることがこの会の目的です。

町活性化研究会発足

本町では農業、林業、商業、工業、観光などあらゆる分野で、活発な事業の展開がなされました。このため町では、その各分野の協力関係と情報交換、そして多分野の力が集まるによる相乗的な「力」によって、産業面だけでなく文化をはじめ、あらゆる面で町を活性化させていこうと、このほど高森町活性化研究会を組織しました。町を高めていくために、十九人のメンバーが本気になつて頑張りましょう」とのありますがありました。



社会福祉協議会だより

高森町社会福祉協議会では、お年寄りや身体の不自由な方などのために、様々な事業を行っています。

5月26日(金)に本協議会の理事会(理事14名)と評議員会(評議員30名)を開催し、平成6年度の事業報告・決算と平成7年度の事業計画・予算が承認されましたので報告します。

今後とも社会福祉協議会へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

◆平成6年度歳入歳出決算◆

〔歳 入〕		〔歳 出〕		(単位=円)
款 項 目	決 算 額	款 項 目	決 算 額	
会 費	1,332,500	運 営 費	180,040	
補 助 金	11,749,000	事 務 局 費	11,248,683	
募 金 分 金	849,869	事 業 費	4,373,080	
使 用 料	95,931	募 金 分 金	400,000	
委 託 金	12,064,010	委 託 事 業 費	11,912,056	
寄 付 金	2,504,344	諸 支 出 金	348,900	
諸 取 入	20,745			
緑 越 金	3,190,282			
歳 入 合 計	31,806,681	歳 出 合 計	28,462,759	

◆平成7年度歳入歳出予算◆

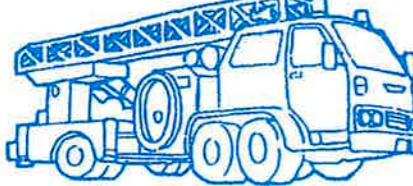
〔歳 入〕		〔歳 出〕		(単位=円)
款 項 目	予 算 額	款 項 目	予 算 額	
会 費	1,322,000	運 営 費	458,000	
補 助 金	14,681,000	事 務 局 費	13,910,000	
募 金 分 金	840,000	事 業 費	4,682,000	
使 用 料	90,000	募 金 推 進 事 業 費	1,012,000	
委 託 金	12,923,000	委 託 事 業 費	12,915,000	
寄 付 金	1,500,000	諸 支 出 金	759,000	
諸 取 入	51,000			
緑 越 金	3,340,000			
歳 入 合 計	34,747,000	歳 出 合 計	34,747,000	

消防署だより

消防なんでも南部分署

の現場に居合わせての消火協力や人命救助など、
敢な行動をした方が、そのためにケガや死亡された
場合などは、その勇気ある行為に報いることが必要
です。こういった公の補償については法律（消防法
第三十六条の3項）で定めら
れ、国が補償することになっ
ています。（ただし、火災建物
の所有者や管理者、火災を発
生させた者、火災の発生に直
接関係がある者は補償の対象
から除く）

また、救急活動協力の際の
ケガ等の補償については、救
急隊員の要請があつた場合に
限りますが、火災と同様の
扱いをするように定められて
います。



家庭教育のポイント

家庭教育のポイントは「子どもに合わせる」「子どもの言うとおりになる」という意味ではなく、親は自分の主観で判断する前に、一度子どもの立場（目線）に立ち、どこに問題があるかを自分で反省したり、客観的に物事を考えてみることが大切であり、子どもに問題があれば、毅然とした態度で子どもに是是非非を教え、子ども以外に問題がある場合は、自らを戒めながら、家族みんなで真剣に考え協力し合って、明るく楽しい家庭を作り上げることが重要だということです。

このことは相手の立場になって物事を考える…違いを認め合う…相手を尊重する気持ちを持つなど、国際交流感覚や人権教育など優しい人間性創造の根幹にも通ずる大切なことなのです。



に限りず積極性を取り戻していきます。最初からやる気の無い子どもはいません。「どこ

かで何らかの原因で子どもをやる気が損なわれたのかもしれない」と考えてみる柔軟な

姿勢を持つことが大切です。

Disaster relief plan discussion

が発生したとき、如何に早く復旧や救護を行うかなど、具体的な災害対応策が話し合われたものです。

的な話し合いが行われました。一月十七日に起きた阪神大震災では情報の収集、伝達の遅れや、道路が損壊して救援物資が届かなかつたりなど、色々な教訓を残しました。町が、ご家庭や職場でも「防災会議」を開いて、災害への対策と復旧について、できる限りの対応をしておきましょう。

「家庭で子どもさんから、」
のようないい言葉が出てくることはありますか?
この言葉には、自分が姉の
ようには出来ないというヒガ
ミや悔しさの意味もあります
が、自分と姉を比較している
ことへの親や家族への反発の
気持ちが隠されています。
子どもを兄弟、姉妹や他の
子どもと比べることは絶対よ
くありません。しかしその子
どもを奮起させ、しつかりさ
せようという親の目的から「ほ
ら、おねえちゃんは分かって
るよ」とか「〇〇ちゃんは出
来たよ」とかの言葉を使つて
はいませんか?
子どもを奮起させようとし
た親としては悪気はないこれ
はありますか?

問題となり、親は子どもに「勉強しなさい」と一点張りの命令口調になります。

この時の子どもの心は「何とかしなければならない……でもどうしたら良いか分からない」という気持ちで揺れ動いています。そんな気持ちは、ここに、ガミガミと説教され、そして子どもにとって最悪の言葉「おまえはダメだ。〇〇ちゃんのようになぜ出来ないのか！」が感情的に発せられます。

ところがあるにしても、必ず他の子に無い長所があるものですね。画一的に子どもを見ようとするから、どうしても比較してしまうことになります。また、子どもにはその子どもに合った道があります。「この子は将来○○の道に進ませたい」ではなく、「この子の将来には何が向いているのか?」という大きな心で子どもの姿を見直してみると、「この子にはこんな優しい心がある」「○○よりも○○の方が向いている」ということが分かり、子ども同士を比べる気持ちは自然と無くなるのです。

また、そうした親の「努力」を子どもが感じることにより、親から言われなくても学業面



まちを守ります! 高森町防災会議 家庭や職場でも防災会議を

Family Moral Education

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
未来のために

子どもには一人ひとり、短所もあれば長所もあります。私たちは、知らず知らずの内に子どもを他の家の子や、兄弟、姉妹と比較していくのでしょうか?

